



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第25巻
第2号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第25巻第2号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1979, 25(2): 224-224

ISSUE DATE:

1979-02

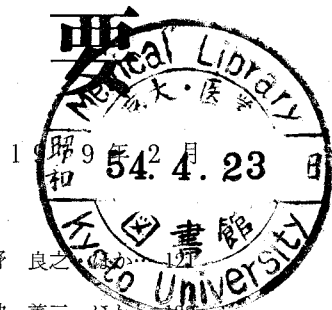
URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122376>

RIGHT:

泌尿器科紀要

第25巻 第2号



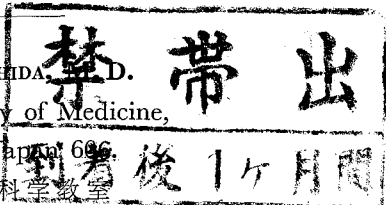
膀胱がん死亡の地理疫学 一市郡別分布を中心に……………大野 良之・ほか	185
尿路性器癌に対する Immunopotentiator OK-432 による免疫療法(英文) ……………中神 義三・ほか	185
膀胱腫瘍の再発に関する臨床統計的観察 第4報 SLA およびビタミン B ₆ 内服の再発におよぼす影響について……………朝日 俊彦・ほか	143
最近の男子尿道炎に関する臨床的観察……………長田 尚夫・ほか	149
人間ドックから見た前立腺肥大症……………岡 直友	157
泌尿器科領域における高カロリー輸液……………和志田裕人・ほか	163
睾丸腫瘍の転移に関する考察 続報:原発巣と組織像を異にした後腹膜腔腫瘍 ……………吉田 隆夫・ほか	169
消化性潰瘍と膀胱をともなった急性原発性副甲状腺機能亢進症の1例……………清家 泰・ほか	177
Milk of Calcium Renal Stone の1例……………鈴木 信行・ほか	183
異性骨形成のみられた腎盂移行上皮癌の1例……………林正 健二・ほか	189
先天性腎動静脈瘻(A-V malformation)の3例 一特に保存的治療について— ……………田中 陽一・ほか	193
Cephalothin の血清中濃度ならびに尿中排泄 —3g 点滴静注について— ……………大井 好忠・ほか	203
急性膀胱炎に対する M73101 の使用経験……………朴 勺・ほか	211
膀胱腫瘍に対するカルバジールキノン(エスキノン)の膀胱内注入療法……………荻須 文一	215

CONTENTS

Geographic Epidemiology of Bladder Cancer Deaths in Japan……………Y. Ohono et al.	121
Adjuvant Immunotherapy with Anti-Tumor <i>Str. Pyogenes</i> Preparation (Immunopotentiator OK-432) in Urogenital Carcinoma……………Y. Nakagami et al.	133
Clinico-Statistic Study on Recurrence of Tumor of the Bladder. Report 4: Effect of SLA and Vitamin B ₆ on Recurrence of Bladder Tumor……………T. Asahi et al.	143
Clinical Observations of Urethritis in Men……………T. Osada et al.	149
Prostatic Hyperplasia from the View Point of Health Examination……………N. Oka	157
Intravenous Hyperalimentation in the Practice of Urology……………H. Washida et al.	163
Metastasis of Testicular Tumor: Discussion on a Retroperitoneal Tumor Histologically Different from Primary Lesion……………T. Yoshida et al.	169
Acute Primary Hyperparathyroidism Associated with Peptic Ulcer and Pancreatitis: Report of a Case……………H. Seike et al.	177
Milk of Calcium Renal Stone: Report of a Case……………N. Suzuki et al.	183
Ectopic Osteogenesis in Transitional Cell Carcinoma of the Renal Pelvis: Report of a Case……………K. Rinsho et al.	189
Conservative Treatment of Congenital Renal Arteriovenous Fistulas: Report of 3 Cases……………Y. Tanaka et al.	193
Serum Level and Urinary Excretion of Cephalothin —A Study of Drip Infusion of Three Grams……………Y. Ohi et al.	203
Clinical Studies of M73101 in Acute Cystitis……………K. Paku et al.	211
Intravesical Instillation Therapy for Tumor of the Bladder……………B. Ogisu	215

泌尿紀要
Acta Urol.

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA,
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室



編集後記

(4)

教授室で書き物をしていると、電話を筆頭にその他諸々のことで中断を余儀なくされることが多い。一度切れた思考の糸は、またはじめからやり直さなくては後へ続かない。これを繰り返しているばかりで少しも先へ進まないというイライラが高じ、精神衛生上きわめてよくない。

というわけでめ切の迫った(あるいは過ぎた)原稿をかかえて、医学部図書館の閲覧室へ逃避することがある。しかしそこでも時々若い医師や学生が、他人のことなどかまわずにしゃべっているのに出会う。聞くとはなしに耳に入ってくるのだが、内容は学問のことであり、熱心に意見を述べているようだ。しかし、だからといって他人の迷惑になるほど声高にしゃべってよいものでないことは言うまでもない。

一般に最近の若い者達は、会合などでも私語が多い。常に何かブツクサ言っているものもいる。

(5)

新幹線グリーン車内の子供連れには辟易する。4、5才の子供が、テレビか何かでおぼえたのだろう、実にくだらない歌を声高にうたい、わけのわからないテレビ人気番組の主人公を真似てしきりにさわぐ。親はと見ると、ある者は誇らしげに目を細めてわが子を眺め、またある場合にはぐつりとおやすみである。

車内で騒いでいる子供と、図書閲覧室で熱心に討論している若人の横顔に、共通したものを垣間見たような気がした。(O. Y.)

編集委員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 菅 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購読要項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投稿内規(1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
 - B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部, 書留便。

泌尿器科紀要 第25巻 第2号	1979年2月25日 印刷	1979年2月28日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤 二	定価 500円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
